



タイトル「**2023年度危機管理学部(公開用)**」、フォルダ「**危機管理学部**」
シラバスの詳細は以下となります。



科目ナンバー	RMGT3306		
科目名	社会政策		
担当教員	柴山 由理子		
対象学年	3年,4年	開講学期	前期
曜日・時限	月 1		
講義室	1402	単位区分	選
授業形態	講義	単位数	2
科目大分類	専門		
科目中分類	専門展開		
科目小分類	専門基礎		
科目の位置付け (開発能力)	<p>■ D Pコード-学修のゴールを示すディプロマポリシーとの関連 DP1-E〔学識・専門技能〕専門分野にかかる理論知と実践知を獲得し利用することができる。 DP4-I〔理解力・分析力〕文章表現、数値データを適切に扱いつつ、情報の収集と取捨選択、分析と加工を有効かつ円滑に行い、課題の解決につなげることができる。</p> <p>■ C Rコード-学修を通じて開発するマインドセット・ナレッジ・スキルを示すコモンルーブリック (C R) との関連 E1 学識と専門技能 (65%) I1 理解・分析と読解 (35%)</p>		
教員の実務経験			
成績ターゲット区分	■成績ターゲット 能力開発の目標ステージと対応 3 発展期～4 定着期		
科目概要・キーワード	<p>社会政策は市民の暮らしに密接に関わる政策であり、また他のさまざまな政策との関連性も高い学際的な政策です。授業では社会政策の基本理念や歴史、各分野の制度や課題を学び、時代や国によって社会政策のニーズや仕組みがどのように異なるのか、自分の暮らしに社会政策がどのように関わるのか、将来の社会政策をどのように作っていくべきかを検討していきます。</p> <p>授業形態は講義形式により行います。なお、対応するコンピテンスに基づき効果的な授業方法として、又は各授業を補完・代替するためオンライン授業を一部取り入れる場合があります。</p> <p>・キーワード：社会政策の機能と役割、国際比較、時事ニュース</p>		
授業の趣旨	<p>■ 副題：社会政策の国際比較と生活との関り</p> <p>■ 授業の目的：国際比較の視点も交え、社会政策の機能や役割を考え、自らの生活に関わる政策の理解につなげるとともに、今後の政策の方向性や動向についても目を向けることのできる知識を醸成します。</p> <p>■ 授業のポイント：社会政策に関する基礎知識を得るとともに、自分の生活とも関連付けて考えること。</p>		
総合到達目標	<p>① 日本や代表的な国の社会政策についての基本的な知識を得ること。 ② 社会政策と自分や自分の社会との関わりについて理解し、新聞やニュースなどの報道を洞察</p>		

	<p>する力を身に着けること。 ③ 社会政策の論点や、これからの社会政策、社会政策の変化について考える力を身に着けること。</p>						
<p>成績評価方法</p>	<p>①授業内試験（1回）：30点(E1) （評価のポイント） 授業で扱った社会的課題についての説明を求めます。その説明において、事実の適正な把握・因果関係についての客観的理解がきちんとできているか（記述できているか）を評価の対象とします。 （フィードバックの方法） テスト終了後に模範解答を示すとともに、評価の具体的なポイントを説明します。</p> <p>②授業中のコメント（13回）：15点(E1), 15点(I1) （評価のポイント） テスト回を除く各回の最後にコメントカードを回収し採点します。その合計を40点換算して成績評価に用います。評価は授業の内容をふまえて自分の考えが意見が述べられているか、疑問や不明な点が挙げられているかに基づいて、授業の参加度について行います。 （フィードバックの方法） 次の回の授業でリプライを行います。また授業内でリプライができなかった質問や意見については、別途資料を作成し一括してリプライを行います。</p> <p>③中間課題・最終課題：20点(E1), 20点(I1) （評価のポイント） 授業の中盤に中間課題（書評）、終盤に最終課題（レポート）の提出を求めます。各20点ずつで、自分の問題意識と授業の内容を踏まえて課題に取り組んでいるか、レポートとしての体裁を満たしているかが採点の基準となります。 （フィードバックの方法） 課題提出後にそれぞれの学生が取り組んだ書評、レポートのテーマを紹介し、内容・形式についてのフィードバックを行います。</p>						
<p>履修条件</p>							
<p>履修上の注意点</p>	<p>授業内試験の際に手書きのノートや資料以外の持ち込みを禁止する可能性があります。受講の際のノートテイクは、それを踏まえて手書きで行うことをお勧めします。</p>						
<p>授業内容</p>	<table border="1"> <thead> <tr> <th data-bbox="464 1162 517 1211">回</th> <th data-bbox="517 1162 1492 1211">内容</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td data-bbox="464 1211 517 1704">1</td> <td data-bbox="517 1211 1492 1704"> ①授業テーマ：ガイダンス、社会政策とは何か ②授業概要：授業の進め方について。社会政策の理解のための基礎知識の説明を行い、以降の授業に必要な基盤を獲得する。（E1・I1） ③運営方法：講義、コメントペーパーの回答 ④予習(120分)： 自分の生活に関連する社会政策について考えてくる。社会政策に関する時事ニュースを調べてくる。 ⑤復習(120分) 授業内で提示した基礎知識を理解する。教科書の該当箇所を熟読する。 </td> </tr> <tr> <td data-bbox="464 1704 517 2143">2</td> <td data-bbox="517 1704 1492 2143"> ①授業テーマ：社会政策の歴史的展開①（世界的文脈） ②授業概要：社会政策のルーツを特にイギリスとドイツの事例から学習する。（E1・I1） ③運営方法：前回のリプライ、講義、コメントペーパーの回答 ④予習(120分)： 教科書の該当箇所を読み、分からない箇所を調べる。 ⑤復習(120分) 授業内で提示した基礎知識を理解する。 </td> </tr> </tbody> </table>	回	内容	1	①授業テーマ：ガイダンス、社会政策とは何か ②授業概要：授業の進め方について。社会政策の理解のための基礎知識の説明を行い、以降の授業に必要な基盤を獲得する。（E1・I1） ③運営方法：講義、コメントペーパーの回答 ④予習(120分)： 自分の生活に関連する社会政策について考えてくる。社会政策に関する時事ニュースを調べてくる。 ⑤復習(120分) 授業内で提示した基礎知識を理解する。教科書の該当箇所を熟読する。	2	①授業テーマ：社会政策の歴史的展開①（世界的文脈） ②授業概要：社会政策のルーツを特にイギリスとドイツの事例から学習する。（E1・I1） ③運営方法：前回のリプライ、講義、コメントペーパーの回答 ④予習(120分)： 教科書の該当箇所を読み、分からない箇所を調べる。 ⑤復習(120分) 授業内で提示した基礎知識を理解する。
回	内容						
1	①授業テーマ：ガイダンス、社会政策とは何か ②授業概要：授業の進め方について。社会政策の理解のための基礎知識の説明を行い、以降の授業に必要な基盤を獲得する。（E1・I1） ③運営方法：講義、コメントペーパーの回答 ④予習(120分)： 自分の生活に関連する社会政策について考えてくる。社会政策に関する時事ニュースを調べてくる。 ⑤復習(120分) 授業内で提示した基礎知識を理解する。教科書の該当箇所を熟読する。						
2	①授業テーマ：社会政策の歴史的展開①（世界的文脈） ②授業概要：社会政策のルーツを特にイギリスとドイツの事例から学習する。（E1・I1） ③運営方法：前回のリプライ、講義、コメントペーパーの回答 ④予習(120分)： 教科書の該当箇所を読み、分からない箇所を調べる。 ⑤復習(120分) 授業内で提示した基礎知識を理解する。						

3	<p>①授業テーマ：社会政策の歴史的展開②（日本での文脈）</p> <p>②授業概要：前回の授業の知識をふまえ、社会政策の日本の歴史的展開について学ぶ。（E1・I1）</p> <p>③運営方法：前回のリプライ、講義、コメントペーパーの回答</p> <p>④予習(120分)： 教科書の該当箇所を読み、分からない箇所を調べる。</p> <p>⑤復習(120分) 授業内で提示した基礎知識を理解する。</p>
4	<p>①授業テーマ：社会政策の国際比較</p> <p>②授業概要：社会政策の国際比較から日本の社会政策の特徴を理解する。（E1・I1）</p> <p>③運営方法：前回のリプライ、講義、コメントペーパーの回答</p> <p>④予習(120分)： 教科書の該当箇所を読み、分からない箇所を調べる。</p> <p>⑤復習(120分) 授業内で提示した基礎知識を理解する。</p>
5	<p>①授業テーマ：雇用と労働</p> <p>②授業概要：雇用や労働分野における社会政策の基礎知識を身に着け課題を探る。（E1・I1）</p> <p>③運営方法：前回のリプライ、講義、コメントペーパーの回答</p> <p>④予習(120分)： 教科書の該当箇所を読み、分からない箇所を調べる。</p> <p>⑤復習(120分) 授業内で提示した基礎知識を理解する。</p>
6	<p>①授業テーマ：年金</p> <p>②授業概要：年金制度の基礎知識を身に着け、課題を探る。（E1・I1）</p> <p>③運営方法：前回のリプライ、講義、コメントペーパーの回答</p> <p>④予習(120分)： 教科書の該当箇所を読み、分からない箇所を調べる。</p> <p>⑤復習(120分) 授業内で提示した基礎知識を理解する。</p>
7	<p>①授業テーマ：年金</p> <p>②授業概要：年金制度の基礎知識を身に着け、課題を探る。（E1・I1）</p> <p>③運営方法：前回のリプライ、講義、コメントペーパーの回答</p> <p>④予習(120分)： 教科書の該当箇所を読み、分からない箇所を調べる。</p> <p>⑤復習(120分) 授業内で提示した基礎知識を理解する。</p>
8	<p>①授業テーマ：健康と医療</p> <p>②授業概要：医療保障制度の基礎知識を身に着け、課題を探る。（E1・I1）</p> <p>③運営方法：前回のリプライ、講義、コメントペーパーの回答</p>

	<p>④予習(120分) : 教科書の該当箇所を読み、分からない箇所を調べる。</p> <p>⑤復習(120分) 授業内で提示した基礎知識を理解する。</p>
9	<p>①授業テーマ：介護保険</p> <p>②授業概要：介護保険制度の基礎知識を身に付け、課題を探る。(E1・I1)</p> <p>③運営方法：前回のリプライ、講義、コメントペーパーの回答</p> <p>④予習(120分) : 教科書の該当箇所を読み、分からない箇所を調べる。</p> <p>⑤復習(120分) 授業内で提示した基礎知識を理解する。</p>
10	<p>①授業テーマ：介護保険</p> <p>②授業概要：高齢者を対象とした社会政策、特に介護保険制度の基礎知識を身に付け、課題を探る。(E1・I1)</p> <p>③運営方法：前回のリプライ、講義、コメントペーパーの回答</p> <p>④予習(120分) : 教科書の該当箇所を読み、分からない箇所を調べる。</p> <p>⑤復習(120分) 授業内で提示した基礎知識を理解する。</p>
11	<p>①授業テーマ：貧困と不平等</p> <p>②授業概要：最低限の所得保障制度、現在の日本の貧困や格差に関する基礎知識を身に付け、課題を探る。(E1・I1)</p> <p>③運営方法：前回のリプライ、講義、コメントペーパーの回答</p> <p>④予習(120分) : 教科書の該当箇所を読み、分からない箇所を調べる。</p> <p>⑤復習(120分) 授業内で提示した基礎知識を理解する。</p>
12	<p>①授業テーマ：障がいと社会政策</p> <p>②授業概要：障がい者福祉の基礎知識を身に付け、課題を探る。(E1・I1)</p> <p>③運営方法：前回のリプライ、講義、コメントペーパーの回答</p> <p>④予習(120分) : 教科書の該当箇所を読み、分からない箇所を調べる。</p> <p>⑤復習(120分) 授業内で提示した基礎知識を理解する。</p>
13	<p>①授業テーマ：児童福祉と家族政策</p> <p>②授業概要：児童福祉の家族政策に関する基礎知識を身に付け、課題を探る。(E1・I1)</p> <p>③運営方法：前回のリプライ、講義、コメントペーパーの回答</p> <p>④予習(120分) : 教科書の該当箇所を読み、分からない箇所を調べる。</p>

	<p>⑤復習(120分) 授業内で提示した基礎知識を理解する。</p>
14	<p>①授業テーマ：まとめ・社会の変化と新しい社会政策</p> <p>②授業概要：社会の変化と現在の社会政策の課題に関する議論をから、これからの社会政策を考える。(I1)</p> <p>③運営方法：前回のリプライ、講義、コメントペーパーの回答</p> <p>④予習(120分)： 教科書の該当箇所を読み、分からない箇所を調べる。</p> <p>⑤復習(120分) 授業内で提示した基礎知識を理解する。</p>
15	<p>①授業テーマ：授業内試験</p> <p>②授業概要：(E1)</p> <p>③運営方法：試験の実施</p> <p>④予習(120分)： 14回の授業で提示する項目を中心に、テストに向けた復習を行う。</p> <p>⑤復習(120分) テストの間と自分の回答について確認をする。</p>
関連科目	「財政学 (RMGT3305)」
教科書	棕野美智子・田中耕太郎『はじめての社会保障 福祉を学ぶ人へ』有斐閣アルマ
参考書・参考URL	各講義において、参考文献を適宜提示します。 また、4月中に書評用の文献リストを提示します。
連絡先・オフィスアワー	メールでご連絡ください (yuriko.shibayama@tsc.u-tokai.ac.jp)。
研究比率	<p>■危機管理領域との対応 災害マネジメント10%；パブリックセキュリティ60%；グローバルセキュリティ20%；情報セキュリティ10%</p> <p>■危機管理と法学とのバランス 危機管理学20%；法学80%</p>

